



おに 心の鬼を追い出そう!!



「立春」を過ぎましたが、まだまだ寒さは厳しいようです。立春の前日（節分）には、豆まきをしたご家庭もあったでしょうか。春を待つこの時期に行われる日本全国の行事には、その土地ならではの文化や風土、人々の願いが見えます。その違いはあれど、私たちも、豆をまいて福を招き入れると同時に、各自の『心の鬼（自分の弱さや克服したい課題のようなもの）』を追い出すことができるとよいと思います。

鳥小では、インフルエンザの流行に伴い、先月、1年生と3年生で学級閉鎖がありました。ご対応をありがとうございました。今のところ少し落ち着いていますが、今後も油断はできません。引き続き、手洗い・うがい・早寝早起き等の基本的な生活習慣を大事にするよう、学校でも子どもたちに声をかけていきます。

☆令和7年1月も、たくさんの学びがありました。

1月13日(祝) 太田市金管バンド演奏会

金管バンドのメンバーが、太田市民会館での演奏会に出演しました。出場校の中では最少人数での編成。トップバッターでの出演ながら、堂々たるその姿はとても凛々しくて、何よりも一人一人が良い音を響かせていました。音楽専科の竹澤教諭の指導のもと、熱心に練習を重ねてきた成果が披露され、素晴らしかったです。



1月15日(水) 太田地区 いじめ防止子ども会議

群馬県全体の取組として、小中高を貫いて推進されている「いじめ防止子ども会議」が今年も開催されました。本校からも、5年生の今井翔太さんが児童会の代表として参加し、他校のメンバーとの協議に参加しました。いじめの未然防止（いじめがおきない学校風土づくり）について皆で考え、話し合うことが、今後さらに大切になってきます。

1月21日(火) 5年生 『いのちの授業』



5年生の学習の一環として、群馬県助産師会の助産師さんを講師に迎え、「いのちの授業」を行っていただきました。5年生は理科の学習でも生命の誕生について学習しますが、その上で、この『いのちの授業』を受けると、自分がどれほど稀有な存在で大切に育まれてきたか、命がどれほど尊いかに気付くことができます。

1月23日(木) 3年生 消防署見学

3年生は、社会科の学習の一環として、太田市消防署の見学に出かけました。人々の暮らしとその安全を守る大切なお仕事をしているところ。警察署とともに、鳥小の身近にあって、普段はあまり意識はしませんが、子どもたちにとってはこの見学が、実感を伴った知識となりました。



1月24日(金) 不審者対応避難訓練

不審者が学校に侵入してきた際の避難を想定し、全校で訓練を行いました。太田警察署より講師をお招きし、実際に教室に侵入されてしまった時に、どのように逃げるのか、また教職員はいかに警察に連絡を繋ぎ、子どもたちを迅速に危険性を最小限にして避難誘導するかを学びました。

*鳥之郷小学校の危機管理マニュアル(保護者配布 令和6年度版)をスクリーンでお送りしています。ぜひご覧いただき、子どもたちの安全をともに守るものとしてお力添えいただきたいと思っております。

お知らせ

1 〈寒い時期の体育科の授業における体育着の着方について〉

寒い日でも、子どもたちは元気いっぱい体育の授業や外遊びをしています。中には、年間を通して半袖・クォーターパンツで活動する子もいるようですが、やはり体が温まらないうちに運動をするよりは、防寒と準備運動をしっかりすることが、運動効果のアップや怪我の予防につながるようです。1年生も秋口に長袖・長ズボンの体育着を用意していただいておりますが、鳥小体育着の重ね着をして、体が温まったら脱ぐという習慣を付けていきたいと思っております。また、本格的に寒い今の時期、インナーとして、半袖体育着のさらに中に運動しやすい長袖・長ズボンを着ることも可とします。約束ごととして以下のとおりとしますので、ご配慮をお願いします。

- ①今まで通り、鳥小のクォーターパンツ、半袖、長袖長ズボンの重ね着を基本とする。
- ②鳥小の長袖・長ズボンの体育着を着ても寒い場合には、鳥小のクォーターパンツ、半袖のさらに下に長袖やスパッツを着用してよいものとする。
- ③長袖、スパッツの色は、白や黒を基本とし、華美でないものとする。
- ④スパッツについては、くるぶしまでのものとし、靴下と一体型のものは避ける（怪我等の処置の観点から）。

必ず着用しなければならないものではありません。寒さ対策、よりよい体育科の授業にするためのお知らせですので、ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

2 〈学校には不要なものを持って来ない・不要なものを身に付けない〉

先日、令和7年度の新入学児童保護者説明会を開催しました。春にはまた、きらきらとした笑顔の元気な子どもたちが入学してくてくれることと思います。毎年、学校生活の説明をするにあたり、『子どもたちが学びに集中しやすい物品準備、身支度、保護者の方のご協力の大切さ』を再認識します。

さて、学年が上がるにつれ、子どもたちの興味関心も大きく広がり、持ち物も増え、学校では使わないものを持ってきてしまったり、学習に不要なものを身に付け、授業への集中を欠いたりしていないでしょうか。保護者の方が買い与えたのでないものをもっていたり、帽子をかぶれない程の髪飾り、付け毛などを付けたりすることのないように、ご家庭でも再度のご確認をお願いします。